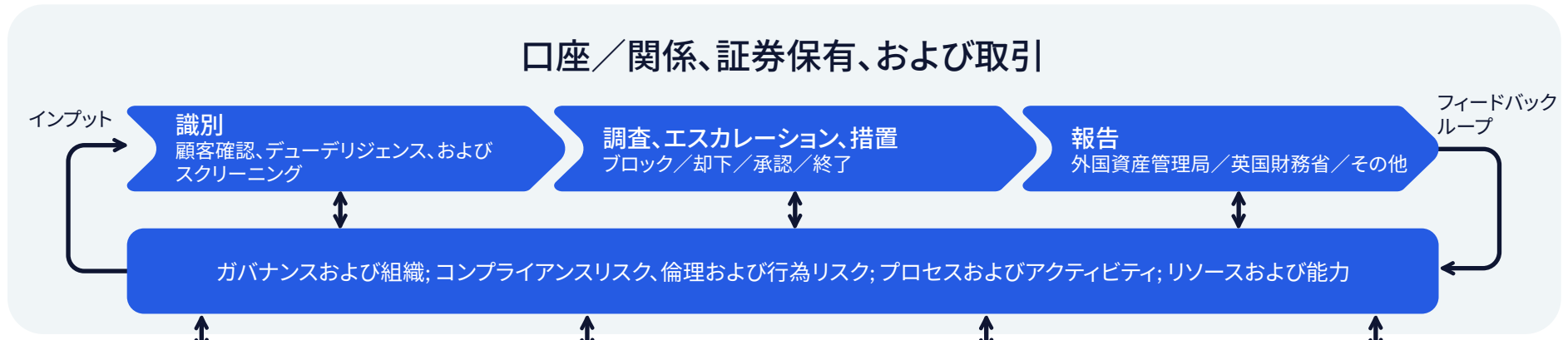


CitiのICRM制裁対応プログラム



方針

- Global Sanctions Policy
- 基準およびガイドライン
- 方針の解釈
- トレーニングおよび意識向上

プロセス

- ガバナンスおよび監視
- リスク評価
- 規制変更
- 商品レビュー
- リストマネジメント
- 独立ロジック検証
- イシューマネジメント
- 規制報告およびライセンス付与

人事

- 3つのディフェンスライン
- 役割と責任
- 主題専門家
- ICRM制裁
- 制裁関連法務
- 制裁関連テクノロジー

コントロール

- スクリーニングおよびRTMP (疑わしい兆候の監視・取引モニタリング・支払い確認)
- Manager's Control Assessment
- モニタリングおよび独立保証
- 内部監査

プログラムの目的

- コンプライアンスリスク管理のフレームワークに沿って、適用される米国内外の制裁関連の要件に対する、企業全体でのコンプライアンスを合理的に保証し、支援するフレームワークを維持する。
- 制裁法規を監視しそれに対する意識向上を図り、関連する制裁リスクエクスポージャーを評価するとともに、制裁コントロールプロセスの質を監督し、制裁リスクを特定・測定・監視・管理するためのグローバル方針、基準、およびプロセスを策定する。

制裁リスク分類

- レベル0 - コンプライアンスリスク
- レベル1 - 制裁リスク
- レベル2
 - 禁止口座／金融サービス提供リスク
 - 禁止取引の処理
 - ブロック／凍結リスク
 - 制裁関連規制報告リスク